

### 環境調査結果のお知らせ

平成31年2月21日午前9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

#### 概況

湾内の環境は、水温12~16°C、塩分33~34、溶存酸素量8~9mg/lでした。  
透明度は5~7mで、有毒・有害種は確認されませんでした。

#### 水温と塩分(表1・2)

湾内の環境は、水温12.2~16.0°C、塩分33.1~34.1でした。  
前回調査時(H31.1.7)と比較して、水温は5m層で0.3°C上昇し、10m層から底層で0.1~0.6°C下降しました。塩分は全層で0.4~0.7上昇しました。

#### 溶存酸素量(表3)

溶存酸素量7.5~9.2mg/lでした。  
前回調査時(H31.1.7)と比較して、全層で0.6~1.1mg/l増加しました。

#### 透明度・プランクトン(表4・5)

透明度は5.0~6.5mでした。  
検鏡の結果、有毒・有害種は確認されませんでした。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



#### 漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百~数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10~100cells/ml(魚類へい死)
- ・ヘテロシグマ・アカシオ: 10,000~50,000cells/ml(魚類のへい死)
- ・ケラチウム属: 100cells/ml~(餌食いの悪化)

## 環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(1/7)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	12.2	12.6	13.1	14.4	15.9	13.4	13.4	0.0
2m	13.2	12.7	13.4	14.1	15.9	13.4	13.4	0.0
5m	12.6	12.8	13.9	14.4	15.9	13.7	13.4	0.3
10m	12.5	12.8	13.5	13.9	—	13.4	13.5	▲ 0.1
B-1m	12.5	12.7	13.0	13.0	16.0	12.9	13.5	▲ 0.6

表2 塩分

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(1/7)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	33.1	33.5	33.4	34.0	34.0	33.6	33.2	0.4
2m	33.7	33.6	33.6	34.0	34.0	33.7	33.2	0.5
5m	33.7	33.7	33.9	34.0	34.0	33.9	33.3	0.6
10m	33.8	33.9	33.9	34.0	—	34.0	33.3	0.7
B-1m	33.9	33.9	34.0	34.0	34.1	33.9	33.3	0.6

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(1/7)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	9.2	9.2	9.0	8.5	8.7	8.9	7.8	1.1
2m	8.9	9.0	8.7	8.3	8.3	8.7	7.7	1.0
5m	8.8	8.8	8.4	8.1	8.1	8.4	7.6	0.8
10m	8.0	8.4	8.3	8.0	—	8.2	7.5	0.7
B-1m	7.5	8.1	8.0	7.9	8.1	8.0	7.4	0.6

※ 目ノクソ・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
水深	13.4	16.2	17.8	17.6	9.8
透明度	5.0	5.5	6.4	6.0	6.5
前回(1/7)	5.2	7.4	7.5	7.2	8.5

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ属	ケラチウム属	珪藻類
中学校前	0m	0	0	0	35
	2m	0	0	0	15
	5m	0	0	0	15
目ノクソ	0m	0	0	0	15
	2m	0	0	0	20
	5m	0	0	0	25
光松	0m	0	0	0	10
	2m	0	0	0	3
	5m	0	0	0	15
大鹿	0m	0	0	0	10
	2m	0	0	0	25
	5m	0	0	0	5
水試小割前	0m	0	0	0	1
	2m	0	0	0	5
	5m	0	0	0	0
鳴無	5m	0	0	0	55